＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	ひょうご木づかいの家
グループの名称	ひょうご木づかい王国学校工務店の会
直近採択グループ番号	06-0515-0567

（グループ代表者）

代表者名	高橋　剛志　　代表者印
代表者所属先	有限会社すみれ建築工房
代表者所在地	兵庫県神戸市西区池上
代表者電話番号	078-976-1430

（グループ事務局）

事務局事業者名	ひょうご木づかい王国学校工務店の会
事務局担当者名	小坂　哲英　　印
事務局郵便番号	651-2111
事務局所在地	兵庫県神戸市西区池上3丁目6-7SUMIRE.COmplex201
事務局電話番号	078-976-1430
事務局FAX	048-487-7144
事務局担当者E-mail	hyogo@yapo.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	ひょうご木づかいの家
２．グループの名称(必須)	ひょうご木づかい王国学校工務店の会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0515-0567
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	全国
５．結成年(必須)	2017　年
６．グループ代表者名(必須)	高橋　剛志
７．グループ代表者の所属先(必須)	有限会社すみれ建築工房
８．グループ代表者所在地(必須)	兵庫県神戸市西区池上
９．グループ代表者電話番号(必須)	078-976-1430
１０．グループ事務局事業者名(必須)	ひょうご木づかい王国学校工務店の会
１１．グループ事務局担当者名(必須)	小坂　哲英
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	651-2111
１３．グループ事務局所在地(必須)	兵庫県神戸市西区池上3丁目6-7SUMIRE.COmplex201
１４．グループ事務局電話番号(必須)	078-976-1430
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	048-487-7144
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	hyogo@yapo.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	8	地域材予定の北米産SPF材、海外材等は国内大手製材会社供給の為登録は難しく事業者には含んでない。
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	19	地域材予定の北米産SPF材、海外材等は国内大手製材会社供給の為登録は難しく事業者には含んでない。
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	10	国内製材業者からパネル工場に直接納入される地域材は、建材流通業者を経由しない場合がある。
Ⅳ．プレカット	9	
Ⅴ．設計	2	
Ⅵ．施工	8	
Ⅶ．木材を扱わない流通	1	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	4	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	■　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	■　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	■　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	■　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	紀州材	和歌山県	紀州材認証システム	1	国内
	兵庫県産材	兵庫県	兵庫県木材証明制度	1	国内
	奈良県産材	奈良県	奈良県産材認証制度	1	国内
	三重の木	三重県	三重の木認証制度	1	国内

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		30	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	30	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		16	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	16	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	1	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		26	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	26	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		11	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	11	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	棟	
			㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	棟	
			㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	未経験工務店を優先するが、事務局受付受理優先とする。

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）										
		採択戸数	22	戸	交付申請戸数	15	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	15	戸	
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）										
		採択戸数	3	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸	
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）										
		採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸	
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）										
		採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸	
	優良建築物型										
		採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績（竣工予定含む）棟数		戸	
		採択床面積		㎡	交付申請床面積		㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積		㎡	

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｉ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）　＜様式 2-2・Ｉ＞

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
地域材予定の北米産SPF材、海外材等は国内大手製材会社供給の為登録は難しく事業者には含んでない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ｉ．原木供給						
38	Ｉ － 18	いしづち森林組合		793-0030	愛媛県西条市大町1211番地	0897-56-0180
34	Ｉ － 20	ひろしま木材事業協同組合		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目1番1号	0823-71-7141
29	Ｉ － 31	株式会社吉野丸タ林業		653-2423	奈良県吉野郡東吉野村大字小栗栖736番地	0746-42-0220
11	Ｉ － 36	株式会社ウッディーコイケ		369-1871	埼玉県秩父市下影森181番地	0494-22-2821
28	Ｉ － 40	株式会社　木栄		669-3821	兵庫県丹波市青垣町桧倉323番地の3	0795-87-5217
28	Ｉ － 41	協同組合　兵庫木材センター		671-4131	兵庫県宍粟市一宮町安積字丸山217-20	0790-72-8811
28	Ｉ － 42	株式会社　キョウワ		668-0852	兵庫県豊岡市江本583番地	0796-23-1180
28	Ｉ － 43	株式会社　八鹿木材市場		667-0024	兵庫県養父市八鹿町朝倉5番地	079-662-3112
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					
	Ｉ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅱ＞

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
地域材予定の北米産SPF材、海外材等は国内大手製材会社供給の為登録は難しく事業者には含んでない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
28	Ⅱ － 7	大野製材所		671-2113	兵庫県姫路市夢前町古知之庄198	079-336-1362
29	Ⅱ － 8	天理集成材株式会社		632-0063	奈良県天理市西長柄町716	0743-67-0136
45	Ⅱ － 9	ウッドエナジー協同組合		889-3215	宮崎県日南市南郷町榎原甲2091番地	0987-68-1038
29	Ⅱ － 11	株式会社梶谷集成材		632-0063	奈良県天理市西長柄町276	0743-67-3339
33	Ⅱ － 12	銘建工業株式会社		717-0013	岡山県真庭市勝山1209番地	0867-44-2695
29	Ⅱ － 13	谷一木材株式会社		633-0091	奈良県桜井市桜井239番地	0743-67-0126
29	Ⅱ － 14	株式会社櫻井		639-3114	奈良県吉野郡吉野町丹治15-1	0746-32-0563
28	Ⅱ － 15	株式会社永井半		658-0033	兵庫県神戸市東灘区向洋町6-20-2	078-843-5656
38	Ⅱ － 16	株式会社サイプレス・スナダヤ		799-1101	愛媛県西条市小松町新屋敷甲1171番地1	0898-72-2421
34	Ⅱ － 21	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目1番1号	0283-71-7141
29	Ⅱ － 31	株式会社吉野丸タ林業		653-2423	奈良県吉野郡東吉野村大字小栗栖736番地	0746-42-0220
11	Ⅱ － 36	株式会社ウッディーコイケ		369-1871	埼玉県秩父市下影森181番地	0494-22-2821
28	Ⅱ － 40	株式会社　木栄		669-3821	兵庫県丹波市青垣町桧倉323番地の3	0795-87-5217
28	Ⅱ － 41	協同組合　兵庫木材センター		671-4131	兵庫県宍粟市一宮町安積字丸山217-20	0790-72-8811
28	Ⅱ － 44	株式会社オーケンホールディングス		669-3404	兵庫県丹波市春日町牛河内325-1	0795-74-0052
28	Ⅱ － 45	衣笠木材　株式会社		671-2532	兵庫県宍粟市山崎町高所343-3	0790-62-2449
34	Ⅱ － 46	東亜林業株式会社		729-0105	広島県福山市南松永3丁目2番20号	084-934-6717
33	Ⅱ － 47	院庄林業株式会社		708-0013	岡山県津山市二宮22番地の1	0868-28-2111
28	Ⅱ － 48	株式会社大野製材所		671-2113	兵庫県姫路市夢前町古知之庄198番地	079-336-1362
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由
国内製材業者からパネル工場に直接納入される地域材は、建材流通業者を経由しない場合がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
27	Ⅲ － 3	株式会社久我		550-0014	大阪府大阪市西区北堀江2-2-25	06-6538-1908
13	Ⅲ － 5	創線株式会社		103-0027	東京都中央区日本橋3-5-13三義ビル9階	03-6262-6155
29	Ⅲ － 17	株式会社トータルビルダーズシステム		633-0047	奈良県桜井市橋本108番地	0744-44-5512
34	Ⅲ － 22	三島建材株式会社		720-2102	広島県福山市神辺町東中条1120番地1	084-960-2280
28	Ⅲ － 32	吉野丸タ林業販売株式会社		663-8114	兵庫県西宮市上甲子園5丁目5-17	0798-34-5544
11	Ⅲ － 36	株式会社ウッディーコイケ		369-1871	埼玉県秩父市下影森181番地	0494-22-2821
28	Ⅲ － 39	ヨドプレ株式会社		675-2114	兵庫県加西市田原町宮ノ谷3179-3	0790-49-1511
28	Ⅲ － 40	株式会社　木栄		669-3821	兵庫県丹波市青垣町桧倉323番地の3	0795-87-5217
28	Ⅲ － 49	株式会社中塚木材商店		673-8057	兵庫県姫路市飾磨区恵美酒260番地	079-234-4500
27	Ⅲ － 51	マルコマ株式会社		550-0015	大阪府大阪市西区南堀江2-2-6	06-6538-7221
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
27	Ⅳ － 4	久我木材工業株式会社		550-0014	大阪府大阪市西区北堀江2-2-25	06-6535-8720
8	Ⅳ － 10	ボラテック株式会社		306-0606	茨城県坂東市幸田小生田山297-1	0297-35-7100
28	Ⅳ － 19	株式会社ナカムラ		669-2465	兵庫県篠山市栗栖野27-1	079-595-1515
34	Ⅳ － 22	三島建材株式会社		720-2102	広島県福山市神辺町東中条1120番地1	084-960-2280
28	Ⅳ － 33	株式会社名田商店		653-0033	兵庫県神戸市長田区苅藻島町3丁目3-18	078-652-2311
11	Ⅳ － 36	株式会社ウッディーコイケ		369-1871	埼玉県秩父市下影森181番地	0494-22-2821
28	Ⅳ － 39	ヨドプレ株式会社		675-2114	兵庫県加西市田原町宮ノ谷3179-3	0790-49-1511
28	Ⅳ － 50	江間忠ウッドベース姫路株式会社		671-1242	兵庫県姫路市網干区浜田	079-272-7705
27	Ⅳ － 51	マルコマ株式会社		550-0015	大阪府大阪市西区南堀江2-2-6	06-6538-7221
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ⅴ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅴ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅴ．設計							○	○
11	Ⅴ － 34	ハートムリビング株式会社		344-0052	埼玉県春日部市梅田二丁目４番３６号	048-752-8106	○	
28	Ⅴ － 35	日置建設株式会社一級建築士事務所		674-0064	兵庫県明石市大久保町江井島1748番地の2	078-936-4320	○	
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通） ＜様式 2-2・Ⅵ-1＞

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							8	○	○
28	Ⅵ － 24	77963	有限会社 すみれ建築工房		651-2111	兵庫県神戸市西区池上3丁目6－7 SUMIRE. COmplex201	078-976-1430	○	
28	Ⅵ － 25	77905	大松建設株式会社		671-2528	兵庫県宍粟市山崎町野々上392番地の1	0790-62-4648	○	
28	Ⅵ － 26	77935	日置建設株式会社		674-0064	兵庫県明石市大久保町江井島1748番地の2	078-936-4320	○	
28	Ⅵ － 27	77618	株式会社 正建工業		658-0081	兵庫県神戸市東灘区田中町3丁目13番5号	078-842-7491		○
27	Ⅵ － 28	76955	株式会社 三幸住研		560-0054	大阪府豊中市桜の町3丁目6番7号	06-6844-0105		○
28	Ⅵ － 29	77580	株式会社 いなほ工務店		661-0001	兵庫県尼崎市塚口本町4丁目7－8	06-6429-9477	○	
28	Ⅵ － 30	77722	株式会社宮下		651-1101	兵庫県神戸市北区山田町小部字妙賀10番地8	078-596-0868		○
11	Ⅵ － 34	71392	ハートムリビング株式会社		344-0052	埼玉県春日部市梅田二丁目4番36号	048-752-8106		○
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数（H27～H29）			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
28	Ⅵ - 24	77963	有限会社 すみれ建築工房	0 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
28	Ⅵ - 25	77905	大松建設株式会社	3 戸	3 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
28	Ⅵ - 26	77935	日置建設株式会社	10 戸	10 戸	9 戸	9 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	4以上		○	○
28	Ⅵ - 27	77618	株式会社 正建工業	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
27	Ⅵ - 28	76955	株式会社 三幸住研	5 戸	8 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
28	Ⅵ - 29	77580	株式会社 いなほ工務店	12 戸	13 戸	8 戸	8 戸	2 戸	2 戸	2 戸	2 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	4以上		○	○
28	Ⅵ - 30	77722	株式会社宮下	3 戸	4 戸	2 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	
11	Ⅵ - 34	71392	ハートムリビング株式会社	4 戸	4 戸	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

<グループ構成員記入用リスト>Ⅶ. 木材を扱わない流通

<様式 2-2・Ⅶ>

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
13	Ⅶ － 5	創線株式会社		103-0027	東京都中央区日本橋3-5-13三義ビル9階	03-6262-6155
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅷ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
14	Ⅷ － 6	一般社団法人建設業総合支援機構		240-0006	神奈川県横浜市保土ケ谷区星川二丁目14番27号	045-342-0292
13	Ⅷ － 37	一般社団法人ハウスワランティ		130-0026	東京都墨田区両国三丁目25番5号JEI両国11階	03-5638-0086
13	Ⅷ － 38	住宅保証機構株式会社		105-0011	東京都港区芝公園3-1-38芝公園三丁目ビル	03-6435-8870
28	Ⅷ － 52	ひょうご木づかい王国学校工務店の会		651-2111	兵庫県神戸市西区池上3丁目6-7SUMIRE.COmplex201	078-976-1430
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）ひょうご木づかいの家	（地域型住宅供給対象地域）全国
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）ひょうご木づかい王国学校工務店の会	（結成年）2017　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0515-0567	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	◆長期優良住宅の性能および基準を満たす住宅であること、または認定低炭素住宅の基準を満たした住宅であることを最低基準ルールとする◆建築地に合わせた耐久安全性能（地域による地盤・構造）、可変持続性能（維持・住宅履歴）、エネルギー性能（温熱環）、快適性能（バリアフリー、シックハウス等）を盛り込む◆CO2削減に向けた認定低炭素住宅の提案を行う	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	◆建築地域の気候風土を考慮した断熱材の選定を地域ごとに検討し採用する◆主要構造材においてはグループの指定する地域材の活用を推進する	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	◆当グループ内で協議し選定した日本の伝統技術や地域材を積極的に取り入れた「ひょうご木づかい王国工務店の会・共通パッケージ（「意匠企画デザインプラン集」「設計マニュアル」「グループ共通仕様書」）を作成しグループ会員が積極的に共有活用し、地域のブランド力を高める	◎
④ ①～③の背景	◆当グループは「ひょうご木づかいの家」をコンセプトに、兵庫県を中心に日本の伝統技術を積極的に活用した住まい創りを推進する会として発足した。未だ認知度が低い優良な国内建材や伝統技術を活用するには、共有の基準・仕様・設計マニュアル・納まり等を規格化することに併せ、ユーザーへ情報発信をすることにより、採用し易い環境を作ることができると考えた。 グループとして地域に根ざしたブランド住宅「ひょうご木づかいの家」の建築を推進する。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◆「ひょうご木づかい王国学校」専用ホームページを開設し、ユーザーに日本の伝統技術や伝統工法を紹介するページを設け、利活用促進を実施している。◆地域特性や伝統技術を採用した長期優良住宅対応のプラン集の作成◆独立行政法人建築研究所が配布する「WEB算定プログラム」によるエネルギー計算の操作方法の習得	○

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：◆グループが掲げた地域材を活用し、グループで取り決めた「ひょうご木づかいの家・共通パッケージ（「意匠企画デザインプラン集」「設計マニュアル」「グループ共通仕様書」）」を活用する	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：◆ホームページ内に会員専用ページ（ID及びパスワードでログイン）を設置し、会員への情報共有及び必要書類のダウンロード等が可能な、ICT促進による事務作業の効率化を図る。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：◆グループが掲げた地域材を活用し、グループで取り決めた「ひょうご木づかいの家・共通パッケージ（「意匠企画デザインプラン集」「設計マニュアル」「グループ共通仕様書」）」を活用する	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：◆ホームページ内に会員専用ページ（ID及びパスワードでログイン）を設置し、会員への資材調達に関連する当グループに参加している資材関連企業の情報共有及び必要書類のダウンロード等が可能な仕組みを活用し、ICT促進による情報連携の効率化を図る。	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：◆ホームページ内に会員専用ページ（ID及びパスワードでログイン）を設置し、事務局が工事現場の進捗状況や調達における進捗状況を共有することで事務作業の合理化を図る。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：◆事務局、プレカット業者、流通業者、施工業者、設計事務所を中心に「木造生産体制推進委員会」を発足する。◆委員会開催の内容はホームページ内の会員専用ページで閲覧できる方法とし、グループ情報の共有を図る。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：◆交付申請書および実績報告書等に関する資料取りまとめ◆支援室への提出及び質疑窓口◆各メンバーへの円滑な指示と確認およびホームページ告知等情報配信◆各種研修会の企画開催◆長期優良住宅および認定低炭素住宅における申請サポート窓口	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：◆グループの共通施工基準及びルールをホームページにー般公開する　◆施工（構造躯体）の品質向上と標準化を図るため、共通施工ルールマニュアルをホームページ内会員専用ページで共有し、会員はダウンロード可能な仕組みとする	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：◆当グループ共有の施工チェックシートを作成し、ホームページ内会員専用ページで共有し、会員はダウンロード可能な仕組みとする	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：◆生産量・在庫量を含め、価格情報について「製材・プレカット・流通3者連絡会」を設置し、情報の共有化を図り、ホームページに掲載する　◆間取り・素材・価格・性能を比較検討できるシミュレーションアプリの活用を推奨する	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：◆当グループ研修会を2ヶ月に1回（最低年6回以上）開催し会員の技術向上を図る　◆ユーザー向けの構造見学会及び完成見学会の開催　◆施工現場進捗状況をホームページで公開する	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある →	内容：週休二日制に準ずる休日を記載した各物件工程表作成を行い週休二日制を実施する。その為の勉強会の開催をグループで定期的に開催し、啓蒙を図り、建設工事従事者等に向けた働き方改革推進に貢献する	◎
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：技能者の能力や資格および経験を適正評価する「建設キャリアアップシステム」導入説明会をグループにおいて定期開催を実施し、普及に貢献する。	◎
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容：社会保険加入義務のある事業者には加入を必須としている。	◎
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：各施工事業者主催の安全大会の開催を必須とし、労働基準監督署に準じた事故を未然に防ぐ講習および身体健康における講習を開催しており、グループ事務局が開催支援を行っている。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◆設計プランニングにおける業務効率化を図るため、長期優良住宅対応のプラン集の作成				○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）ひょうご木づかいの家	（地域型住宅供給対象地域）全国	
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）ひょうご木づかい王国学校工務店の会	（結成年）2017　年	
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0515-0567		

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：いえかるて等の履歴システム活用を全棟義務付けている	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：当グループと連携している建設に特化した一般社団法人等の情報機関の協力により勉強会を2カ月に1度の頻度で実施する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：施工業者が実績報告書提出の際に各物件ごとに事務局が確認している	◎
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：当グループ施工業者の指定時期（例：1年・3年・5年・10年・15年・20年・25年・30年）における点検実施と点検結果の蓄積方法および保管方法を当グループ事務局に提出する	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：各物件毎に顧客が加入する住宅瑕疵担保責任保険の規定内容に基づき実施する	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：事務局が住宅の定期管理および定期点検時期の確認をおこなう。	◎
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：当グループ施工業者主催の構造見学会および完成見学会等で、住宅の自己管理方法を住まい手に享受する。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：当グループ施工業者主催のイベント等で、施工体験会を開催し、体験を通じて顧客の住まいの維持における啓蒙活動とする。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：顧客に建物の構造・断熱・維持をはじめ住宅ローン、生命保険や損害保険の見直しなどを含め、専門家による暮らしに直結した幅広い内容の相談会を実施する。	◎
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：事務局、施工業者、設計事務所を中心に維持管理検討委員会を発足し情報の共有を図る。	○
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：当グループ施工業者と住まい手をつなぐ専用のSNSを開設し建物で不具合があれば即時対応できるよう随時情報を共有する。	○
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：グループ内の維持管理検討委員会において、引き継ぎ可能な施工業者の選定をおこない、ユーザーに紹介する。	○
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：地盤および建物の瑕疵における有識者による勉強会を開催している。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			入居者の維持管理メンテナンス充実を図るためにeハウスプロジェクト株式会社が提供している「ハッピーホームサポート（24時間駆付けサービス・設備延長保証・すぽっと団信・おうちポイント）」の活用を推進し、入居者へのサポート体制を充実させる。			○

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：未経験工務店を対象とした実務説明会の開催や、長期優良住宅および認定低炭素住宅の施工現場見学会の開催を実施する。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：長期優良住宅および認定低炭素住宅の永続的な安定供給のために、施工後のメンテナンス及び定期点検の様子等をホームページで情報配信し顧客を主体に会員相互で共有する。	○
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：当グループの定期勉強会の開催の際に、施工実施における進捗報告会を実施する。	○
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：地域材等の建材の在庫状況や販売価格等の情報を事務局に定期的に報告。また建材の特性、利点等をホームページで情報共有（原木供給、製材、プレカット、流通）する。	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：優良住宅（長期優良住宅および認定低炭素住宅）を標準仕様としたグループ共通設計マニュアル及びプラン集を作成し積極的に活用。2020年には全棟優良住宅を目指している。	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：建材情報を事務局に定期報告（原木供給、製材、プレカット、流通）、設計プラン集作成（設計、その他）、長期優良住宅の施工技術の習得に向けた勉強会参加（施工業者）	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　17		今年度の参加目標人数　4	◎
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　7		今年度の参加目標人数　1	◎
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：当グループは施工技術講習会参加を義務化しており、当グループホームの専用ホームページに省エネ技術講習会の情報を掲載する。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：グループで協議し、先導的かつ合理性ある技術は積極的に採用する。	◎
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：勉強会および説明会を開催または参加し、有識者を交えグループの知識や技術の向上を図る。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			当グループは優良住宅（長期優良住宅・認定低炭素住宅）の施工技術向上と共に、施工を行う工事現場の専門業者の安全管理を重視しており、当グループ事務局との連携により各施工業者主催の安全大会の実施（最低年1回)を義務付けており、工事現場の危険回避手法や万が一の事故における損害保険適用手順を含めた勉強会を開催する。			◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）ひょうご木づかいの家	（地域型住宅供給対象地域）全国
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）ひょうご木づかい王国学校工務店の会	（結成年）2017 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0515-0567	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	主要構造材（柱・梁・桁・土台）に50%以上のグループが指定する地域材とし、合法木材も可とする 出荷証明書「合法木材事業者認定書」の写しを提出	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	①「材料チーム」（原木供給業者、製材・プレカット業者、流通業者）は国産材および地域材等の優良な木材の情報提供かつ品質証明や出荷証明のある高品質な材料を「設計施工チーム」に供給することを目指す ②「設計施工チーム」（設計、施工業者、その他事業者）は建築業者のサポートとして、長期優良住宅の申請や認定低炭素住宅の申請サポートをはじめ、施主に優良な住宅を提供できる実務サポートや研修会、勉強会の定期開催をおこなう ③地域材の情報や利点がユーザー（施主）に直接届くよう、ひょうご木づかい王国学校工務店の会のパンフレットや紹介用資料を作成し、見学会開催などの際には顧客へ配布し情報開示を行い、地域材を活用した高性能住宅・長期優良住宅・認定低炭素住宅の普及を目指す。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある → 内容：製材・流通・プレカット事業者による「連絡協議会」を設置し、事務局が周知を行う。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある → 内容：製材・流通・プレカット事業者による「連絡協議会」を設置し、事務局が周知を行う。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：見込みユーザーのリスト表を基に既に工事中の地域材出荷状況をグラフデータ化し比較表及び予測表を2カ月に1回の頻度で会員に配布する。	○
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：今年度の使用予定枚数（1畳換算）　30　枚	○
	①-2 和瓦の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：今年度の使用予定枚数：75　坪	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算）　10　枚	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算）　10　枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：畳、和瓦、襖、障子をはじめとする日本の伝統技術を取り入れた専門技術者との連携をおこない、施工業者が主体となりユーザーに提案をしていく。	◎
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：畳、和瓦、襖、障子をはじめとする日本の伝統技術を取り入れた当グループ専用の意匠企画デザインプランを用意し、ユーザーに提案をしていく。	◎
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：古民家や日本の歴史深い建物を参考に持続可能（サスティナブル）を目指した地域型の企画プランを用意しユーザーに提案する。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：地域の暮らしにまつわる風習や持続可能（サスティナブル）な暮らしの情報を、建築地域の役所等で入手し、ホームページで紹介する。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：建築地域の気候風土により異なる町並み形成の歴史をホームページで紹介し、ユーザーの建築地域の街並みの歴史を認知することに努める。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：地域により異なる日本の伝統的なデザイン、住まい方、街並みの歴史を盛り込んだ当グループ専用の企画プランを用意し、ユーザーに提案をしていく。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		グループの施工業者、設計業者において、一般社団法人全国木材組合連合会が主催する「合法木材ナビ」の登録を義務付けし、適切な合法木材の活用及び推進を啓蒙することを必須とした。	◎

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	東北の自治体、また東北地域の施工業者等からの要請があれば、当グループ事務局からグループ内施工業者に要請内容を告知し、東北復興に向けての出向協力等の支援を行う。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	熊本の自治体、また九州地域の施工業者等からの要請があれば、当グループ事務局からグループ内施工業者に要請内容を告知し、熊本復興に向けての出向協力等の支援を行う。	○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）ひょうご木づかいの家	（地域型住宅供給対象地域）全国
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）ひょうご木づかい王国学校工務店の会	（結成年）2017 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0515-0567	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

１、当グループが目指す認定低炭素住宅及び高度省エネ型住宅は、第三者評価機関の認定取得を最低基準とし、かつ各地域における施工現場で導入しやすい工法を標準とし低価格で顧客に提供できる仕様としています。

２、断熱地域区分に関しては関東を主体に4地域を基準として設定しており、他の建築地域（関西・東北エリア等）の施工に関してはその施工地域の断熱地域区分に沿った基準で計画を行います。

３、断熱工法は、充填断熱を標準とし断熱材は主に、高性能グラスウール又は同等以上の性能を有するものとし、床や土間についてはポリスチレンフォーム等又は同等以上の性能を有する材料とします

４、開口部は、樹脂サッシ、LowEガラスを標準としますが、同等以上の性能を有する材料も可とします。

５、照明は、低消費電力で長寿命であるLEDを標準としますが同等以上の材料も可としています。

６、給湯器は、エコキュートまたはエコジョーズを標準とすしますが同等以上の性能を有する機器も可とします。

７、冷暖房機器は、高効率型を標準とします。

８、給水設備は、節水型を標準とし浴室は高断熱浴槽としています。

９、太陽光パネル、又は太陽集熱パネルを設置し、一次消費エネルギーの削減率(R値)を100%以上を目指します。

10、「高度省エネ住宅」の取組み施工事業者において円滑な事業遂行と合理性及び正確性保持の観点から、当グループに参加している設計事務所の申請によるものを推奨とし、
第三者評価期間による住宅性能評価　温熱環境・一次消費エネルギー等級が「認定低炭素住宅」および「高度省エネ型住宅」の基準に適合することを必須としております。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。